

コンクリート補修用
高炉スラグ・繊維入りポリマーセメントモルタル

エフモル[®]

適用事例



南組グループ
株式会社 エフモル工業

エフモルとは

高炉スラグ微粉末・細骨材、および短繊維を配合したコンクリート補修用ポリマーセメントモルタルです。高炉スラグの特長である潜在水硬性により、耐塩害性能・耐凍害性能・化学抵抗性能に優れ、また繊維の混入により、初期乾燥収縮ひび割れを抑制します。

●北海道発のコンクリート補修材料

- ・室蘭工業大学、（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所、北海道電力(株)との共同研究や日鉄住金セメント（株）からの技術アドバイスを経て開発
- ・室蘭製鉄所の副産物『高炉スラグ』と火力発電所の副産物『フライアッシュ』を使用

●独自の製造方式

- ・従来の補修材料の製造方式には無い『1袋計量1袋製造』方式を採用。この製造方式により混合品質のばらつきが極めて少ない製品が生産でき、製造ロスを限りなくゼロにすることが可能

性能

耐塩害性

- ・高炉スラグ微粉末の長期に渡る水和反応により、硬化体の細孔構造が緻密になります。この硬化体の緻密化と併せて、高炉スラグ由来の塩化物イオン固定化能力により、塩分の浸透が著しく低減されます。

耐凍害性

- ・高炉スラグ微粉末の長期に渡る水和反応により、硬化体の細孔構造が緻密になり、凍結融解作用に対する耐久性が向上します。

化学抵抗性

- ・高炉スラグ微粉末の長期に渡る水和反応により、硬化体の細孔構造が緻密になり、酸に対する耐久性が向上します。

ひび割れ抵抗性

- ・乾燥収縮が小さく、また特殊繊維を配合していることで、初期養生時のひび割れを抑制します。

製品一覧

品名	用途	施工方法	荷姿	特徴
エフモル05 (ひび割れ低減タイプ)	断面修復 (小面積)	吹付/左官	粉体：25kg袋	短繊維を0.5vol%以上配合した、吹付/左官兼用の汎用型断面修復材です。
エフモル12 (ひび割れ抑制タイプ)	断面修復 (大面積)	吹付	粉体：25kg袋 繊維：1袋	短繊維を1.2vol%以上配合した、吹付専用の断面修復材です。
エフモル15 (高靱性タイプ)	表面被覆	吹付	粉体：25kg袋 繊維：1袋	短繊維を1.5vol%以上配合した、吹付専用の表面被覆材（靱性モルタル）です。耐摩耗性にも優れているので、摩耗による損傷箇所にも適用可能です。

用途

～コンクリート構造物の断面修復および表面被覆～

<適用事例>

- 土木構造物（橋梁、ダム、ボックスカルバート、トンネル覆道部、擁壁、用排水路など）
- 建築構造物（コンクリート補修など）
- 港湾構造物（護岸、防波堤など）

荷姿



粉体 25kg/袋



特殊繊維 1袋

※エフモル05の場合、特殊繊維は粉体にあらかじめ混入しています。

標準配合

品名	1袋配合			1m ³ 配合		
	粉体	繊維	水	粉体	繊維	水
エフモル05 (ひび割れ低減タイプ)	25kg(1袋)	—	3.9～4.5L	1775kg (71袋)	—	298L
エフモル12 (ひび割れ抑制タイプ)	25kg(1袋)	1袋	4.0～4.6L	1725kg (69袋)	69袋	296.7L
エフモル15 (高靱性タイプ)	25kg(1袋)	1袋	5.0～5.6L	1625kg (65袋)	65袋	344.5L

物性値

(使用水量：エフモル05(4.2L/袋)、エフモル12(4.4L/袋)、エフモル15(5.3L/袋)、養生温度：20℃、材齢：28日)

項目	試験方法	エフモル05 (ひび割れ低減タイプ)	エフモル12 (ひび割れ抑制タイプ)	エフモル15 (高靱性タイプ)
流動性（フロー値）(mm)	JISA1171	155	152	160
硬化収縮性（長さ変化率）(%)	JISA1129-3	-0.040	-0.044	-0.049
圧縮強度 (N/mm ²)	① JISA1108 ② JSCE-K561	51.2 ① (φ100×200)	45.1 ① (φ50×100)	42.1 ② (40×40×160)
曲げ強度 (N/mm ²)	JISA1171	8.5	11.4	9.8
付着強度 (N/mm ²)	建研式試験器	2.3	2.1	2.0
凍結融解性 (%)	JISA1148	101	98	98

※ 上記の物性値は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。

特徴：その1 《独自の製造方式》

①原材料の投入



10種類以上ある原材料をそれぞれのタンクに入れます。

②1袋毎の配合



1袋（25kg）毎に配合する原材料を1袋ずつ計量します。これにより1袋に10g前後の量しか配合しない混和剤であっても正確な量が1袋ずつに配合されます。

③封袋



1袋ずつ正確に混合したモルタルを封袋します。

④パレットへ搭載



パルタイザーを使用して1袋ずつパレットに積み重ねます。

品質に対する弊社の考え方

1袋（25kg）に対して10g前後の量の混和剤が数点配合されています。一般的な製造方式では5～10t程度のミキサーに200～400袋分の原材料を投入、攪拌してから小分けしますが、いかに優れたミキサを使用して均一になるよう混合したとしても、1袋1袋に10g前後配合される混和剤が5～10t程度のミキサの中で正確に混合されるとは考えられません。

このことから弊社では「製袋1袋1袋に混入している全ての原材料が配合計画通りの分量で、その1袋1袋に混入していると証明できる独自の製造方式」によって製造しています。



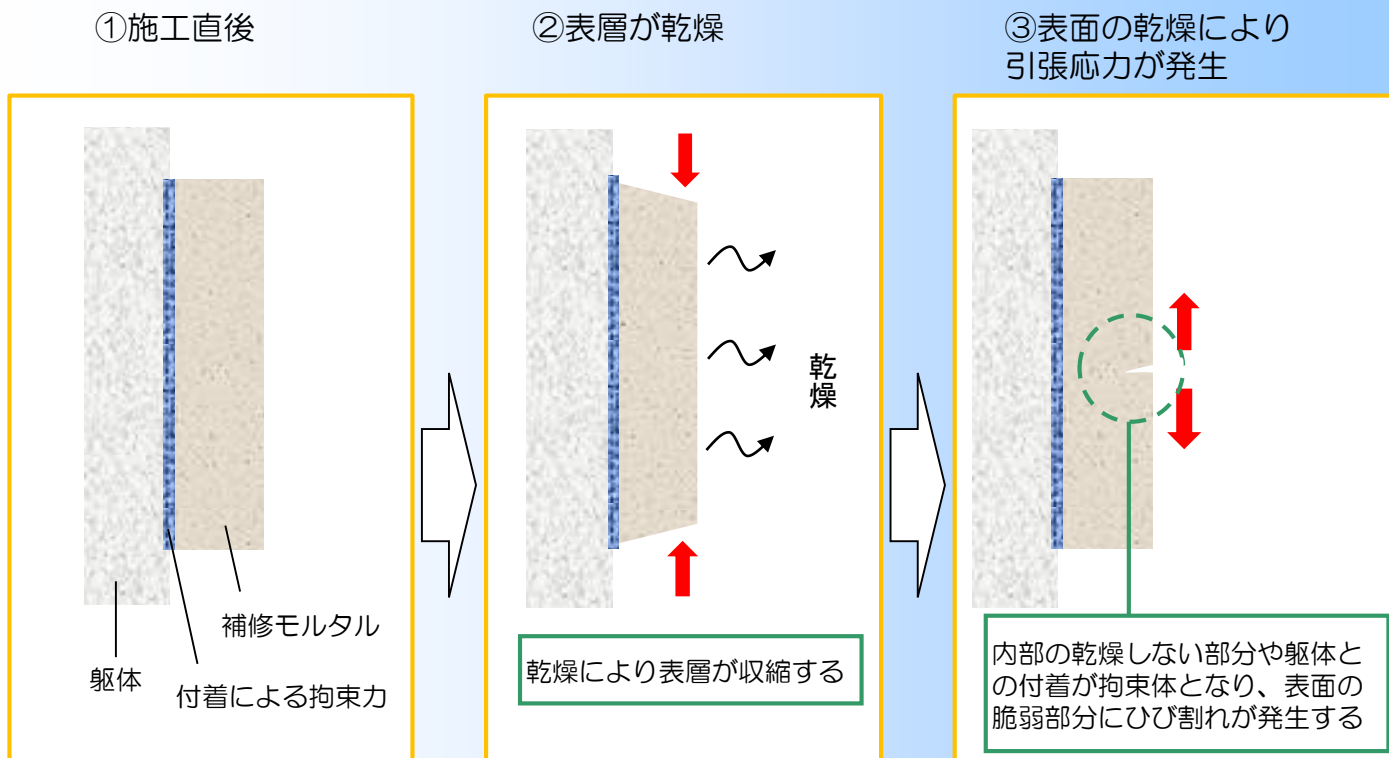
カタログ物性値と実際の製品物性値の乖離が無くなり、特記仕様書での要求性能を満たした状態で施工することで、補修後の構造物の再劣化を防ぐことが可能となります。

特徴：その2 《特殊繊維の配合》

●乾燥収縮ひび割れの抑制

一般的なポリマーセメントモルタルでは、施工後の初期養生の段階で『乾燥収縮ひび割れ』と呼ばれるひび割れが発生することがあります。エフモルでは、この乾燥収縮ひび割れの発生を抑制するために特殊繊維を配合しています。下図は、一般的な補修用モルタルの場合における、乾燥収縮ひび割れの発生メカニズムの一例です。乾燥収縮ひび割れの発生は、下図のように、補修モルタルの表層部分が乾燥して収縮し、脆弱部に引張力が生じることが一つの要因と考えられています。エフモルでは、配合繊維の『架橋効果』により、この乾燥収縮ひび割れに対する抵抗性を高めています。

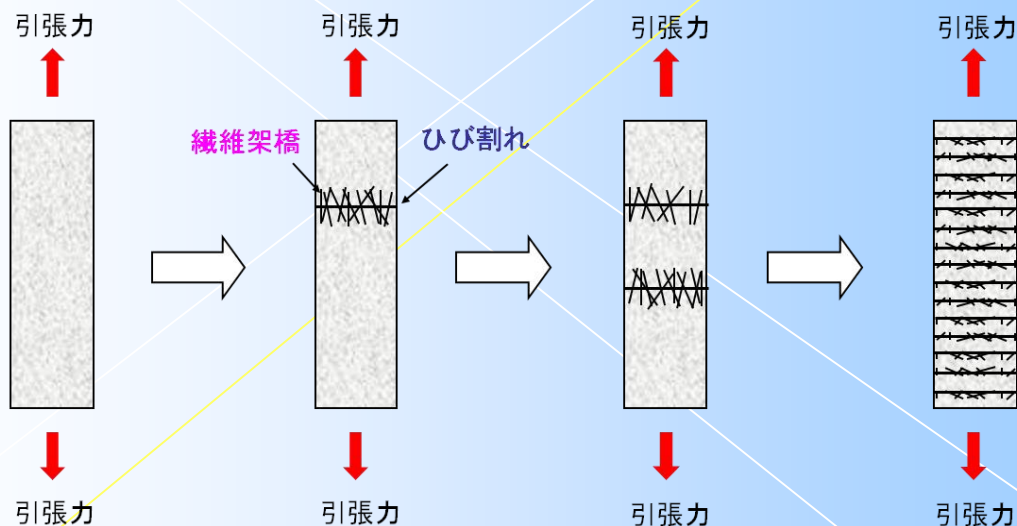
乾燥収縮ひび割れのイメージ



●ひび割れの分散

エフモル15では、下図のように引張力を徐々に加えた場合、ある荷重で幅の狭いひび割れ（有害でないひび割れ）が生じます。さらに引張力を加えていくと、繊維そのものの引張抵抗力和モルタルとの付着力（繊維がモルタルから引き抜かれないよう抵抗する力）によって引張力に対して抵抗し、最初にひび割れが生じた箇所とは別の箇所に新たなひび割れが生じます。この現象が繰り返され、有害でないひび割れが複数に分散していきます。エフモル15では、多量に配合された繊維の架橋効果によって、幅の広い有害なひび割れを抑制します。

ひび割れ分散のイメージ

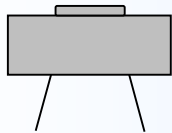


施工手順

①下地処理

- ・ 清掃、脆弱部の除去、鉄筋防錆処理、ひび割れ処理、漏水処理など

②練混ぜ



モルタルミキサで3分以上練り混ぜる

- ・ 使用水量は、1袋当り

エフモル05： 3.9～4.5L の範囲内です。

エフモル12： 4.0～4.6L の範囲内です。

エフモル15： 5.0～5.6L の範囲内です。

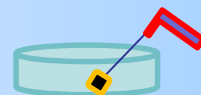
- ・ 練混ぜ水は、水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- ・ 袋単位で練混ぜてください。小分けして使用しないでください。
- ・ 材料温度、現場温度などによって使用水量は範囲内で変化します。
- ・ 必ず使用前に試し練りを行い、適切な水量を決定してください。
- ・ プレミックス製品ですので、他のセメント、砂、混和剤などを加えないでください。
- ・ 練混ぜ開始後30～60秒経過すると、練混ぜが一時的に重たくなることがありますが、加水しないで練混ぜ続けてください。プレミックスされている混和剤が練混ぜられると、練混ぜの重たさは解消されます。

※注意

エフモル05はハンドミキサでも練り混ぜができます。

ハンドミキサで練り混ぜる場合、低速用仕様のハンドミキサを使用してください。

また、ハンドミキサによる練り混ぜの場合、練り混ぜ水の入ったペール缶などの容器の中にエフモル05を少量ずつ入れながら練り混ぜてください。



ハンドミキサ
低速用

推奨ハンドミキサ



推奨攪拌羽（箱型）



③吹付・左官

- ・ 標準施工厚： 天井面： 10～20mm程度 側壁面： 10～40mm程度
- ・ 吹付の場合、必ずセメントペーストをホース内に通してから材料を圧送してください。
- ・ 吹付ホースを連結する場合、必ず同じ径のホースで連結してください。
- ・ 吹付時、ノズル先からセメントノロが下方に多く飛ぶ場合、吹付空気圧を調整してください。

④養生

- ・ 風や直射日光、降雨、外気温の影響を避ける養生管理を行なってください。

認定・登録など

- ◆NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）登録番号 『HK-110049-VE』
- ◆ARIC（農業農村整備民間技術情報データベース）登録番号 『1001』
- ◆グリーン購入法特定調達品目『高炉スラグ骨材』使用
- ◆北海道新技術情報提供システム登録
- ◆道産建設資材データベース登録：商品コード 『00503』

使用上の注意

- ご使用前に、必ずカタログおよび施工要領書をお読みください。
- 吸湿性を有する粉末品ですので、セメントと同様に水に濡れないようできるだけ屋内で保管してください。屋外で保管する場合は、地面に直接置かず台座などを用いて湿気を避けるように保管してください。
- 一度開封したものは使い切るようにしてください。開封状態で保管したものを再度使用しないでください。
- 使用に際しては、保護具（防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋など）を着用してください。
- エフモルは水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 目や口に入った場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 廃棄する場合は、都道府県の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。

本書に記載されたデータは、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。実際の現場結果を確実に保証するものではありません。また、本書の記載事項は、新しい知見などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

（製造元）

株式会社 エフモル工業

〒062-0052 北海道札幌市豊平区月寒東2条17丁目3番75号
TEL 011-595-7085 FAX 011-853-0220